

マクロパッド PC 事前設定ガイド

一括起動・Web ページ起動・ファイル起動をボタンに割り当てるための準備資料

この資料は、マクロパッド本体の設定だけでは完結しない「PC 側の準備」を説明します。配布先の PC で利用する場合は、起動したい URL やファイルの保存場所に合わせて設定してください。

この資料でできるようになること

- 複数の Web ページや資料ファイルを、ボタン 1 つでまとめて開く。
- 作成したショートカットに、Ctrl + Alt + F1 などのキーボードショートカットを割り当てる。
- ショートカットをスタートメニュー、またはデスクトップの専用フォルダーに整理する。
- 日本語ファイル名を扱うときの文字化けを避ける。

全体の流れ

手順	作業内容
1	一括起動用の .cmd ファイルを作成する。
2	作成した .cmd ファイル、または URL のショートカットを作成する。
3	ショートカットのプロパティから、Ctrl + Alt + F1 などを設定する。
4	マクロパッド側に、同じキー操作を登録する。
5	実際にボタンを押し、目的のページやファイルが開くか確認する。

1. まず保存場所を決める

あとからファイルを移動するとショートカットが切れることがあります。最初に保存場所を決めてから作業してください。

おすすめのフォルダー構成

```
C:\MacroPadDemo\  
├─ launch_demo.cmd  
├─ price_list.pdf  
├─ inventory.xlsx  
├─ product_guide.pdf  
└─ shortcuts\  
    ├─ launch_demo.lnk  
    └─ open_products.lnk
```

配布やデモ用途では、フォルダー名・ファイル名を半角英数字にするとトラブルが少なくなります。日本語名を使う場合は、5 ページの注意事項を確認してください。

ショートカットの保存先は 2 パターン

保存先	メリット	注意点
スタートメニュー	デスクトップを散らかさずに整理できます。デモ用 PC では最もおすすめです。	場所が少し分かりにくいいため、手順を見ながら設定します。
デスクトップの専用フォルダー	作成場所が分かりやすく、初心者でも確認しやすいです。	デスクトップの見た目に影響します。OneDrive 同期環境では保存先に注意します。

2. 一括起動用の .cmd ファイルを作る

複数の Web ページや資料ファイルをまとめて開く場合は、メモ帳で .cmd ファイルを作成します。

記述例

```
@echo off
start "" "https://www.elekit.co.jp/product/TJ-001"
start "" "https://www.elekit.co.jp/product/TJ-002"
start "" "C:\MacroPadDemo\price_list.pdf"
start "" "C:\MacroPadDemo\inventory.xlsx"
start "" "C:\MacroPadDemo\product_guide.pdf"
exit
```

重要なポイント

- start の直後にある "" は、空のウィンドウタイトルです。省略しないでください。
- URL やファイルのパスは、半角のダブルクォーテーションで囲みます。
- 保存するときは、ファイル名を launch_demo.cmd のようにします。
- メモ帳の「ファイルの種類」は「すべてのファイル」を選びます。

NG 例：start "C:\MacroPadDemo\price_list.pdf" のように書くと、Windows がファイル名ではなくウィンドウタイトルとして解釈する場合があります。

3. ショートカットを作り、キーを割り当てる

ショートカットの作成

- 作成した launch_demo.cmd を右クリックします。
- 「その他のオプションを確認」→「ショートカットの作成」を選びます。
- 作成されたショートカットを、スタートメニューまたはデスクトップの専用フォルダーへ移動します。

キーボードショートカットの設定

- ショートカットを右クリックし、「プロパティ」を開きます。
- 「ショートカット」タブの「ショートカットキー」欄をクリックします。
- F1 を押すと、多くの環境では Ctrl + Alt + F1 と表示されます。
- 「適用」→「OK」を押して保存します。
- マクロパッド側にも、同じ Ctrl + Alt + F1 を登録します。

割り当て例	用途
Ctrl + Alt + F1	商談セットを一括起動
Ctrl + Alt + F2	商品ページを開く
Ctrl + Alt + F3	価格表を開く
Ctrl + Alt + F4	在庫表を開く
.lnk は Windows のショートカットファイルです。通常は画面上では「.lnk」という拡張子は表示されません。	

4. 保存先パターン A：スタートメニューに入れる

デモ用 PC で見た目をすっきりさせたい場合は、ショートカットをスタートメニュー内にまとめる方法がおすすめです。

手順

- Win + R を押します。
- 名前欄に shell:programs と入力し、Enter を押します。
- 開いたフォルダーに MacroPad Demo というフォルダーを作ります。
- その中に、作成したショートカットを移動します。

実際の保存先の例

```
C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\MacroPad Demo\
```

スタートメニュー配下に置くと、デスクトップにアイコンを表示せずにショートカットキーを利用できます。デモ時の見た目を重視する場合に向いています。

5. 保存先パターン B：デスクトップの専用フォルダーに入れる

設定内容を目で確認しやすくしたい場合は、デスクトップに専用フォルダーを作っておきます。

手順

- デスクトップを右クリックし、「新規作成」→「フォルダー」を選びます。
- フォルダー名を MacroPad Shortcuts などにします。
- 作成したショートカットをこのフォルダーに移動します。
- 各ショートカットのプロパティで、Ctrl + Alt + F1 などを設定します。

配置例

```
デスクトップ\MacroPad Shortcuts\  
├─ launch_demo.lnk  
├─ open_products.lnk  
└─ open_price_list.lnk
```

デスクトップが OneDrive で同期されている場合、実際の保存先が OneDrive\Desktop になることがあります。動作が不安定な場合は、スタートメニュー方式を使ってください。

6. 日本語ファイル名を扱う場合の注意

日本語ファイル名や日本語フォルダー名を .cmd 内に書くと、環境によって文字化けして開けないことがあります。

最も安全な方法

- ・フォルダー名とファイル名は、できるだけ半角英数字にします。
- ・資料の表示名は日本語でも、実際のファイル名は price_list.pdf のようにします。
- ・配布先の PC で再設定しやすいように、保存場所を固定します。

表示上の意味	推奨するファイル名
価格表	price_list.pdf
在庫表	inventory.xlsx
商品資料	product_guide.pdf
商談メモ	meeting_notes.txt

日本語名を使う場合

- ・メモ帳で保存するとき、文字コードは「ANSI」を選ぶと安定しやすいです。
- ・日本語版 Windows では、ANSI は通常 Shift-JIS 系の文字コードとして扱われます。
- ・UTF-8 で保存する場合は、cmd の先頭に chcp 65001 > nul を入れる方法もありますが、環境差があるためデモ用途では推奨しません。

```
@echo off
start "" "C:\MacroPadDemo\価格表.pdf"
start "" "C:\MacroPadDemo\在庫表.xlsx"
exit
```

7. 動作しないときの確認項目

症状	確認すること
ボタンを押しても何も開かない	ショートカットキーが .lnk に設定されているか確認します。
ファイルが見つからない	cmd 内のファイルパスが実際の保存場所と一致しているか確認します。
日本語ファイル名が文字化けする	英数字名に変更するか、cmd を ANSI で保存し直します。
Web ページだけ開かない	URL が正しいか、既定のブラウザが設定されているか確認します。
一部のアプリで反応しない	ほかのアプリが同じショートカットキーを使用していないか確認します。

配布時の説明文例

一括起動や商品ページ表示などの機能を使う場合は、利用する PC ごとに起動先のファイル、URL、ショートカットキーを事前に設定してください。通常のコピー、貼り付け、音量調整などは、PC 側の追加設定なしで利用できる場合があります。

最終チェック

- Ctrl + Alt + F1 など キーボードから押して、先に動作確認します。
- その後、同じキー操作をマクロパッドへ登録します。
- 訪問デモでは、ネットワーク接続とファイル保存場所を事前に確認します。